

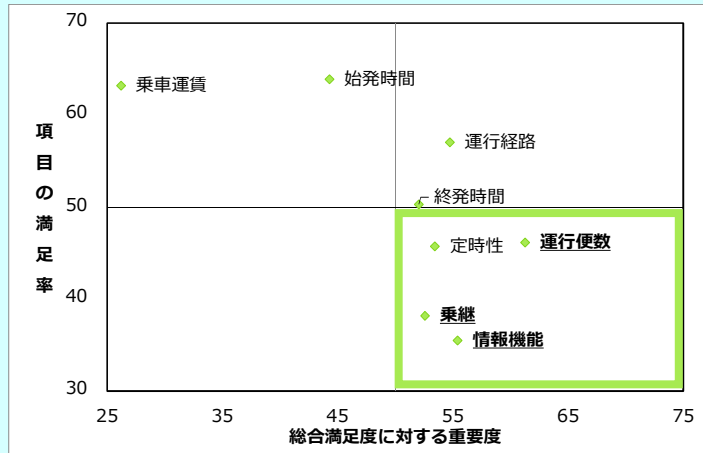
[illegible]

当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

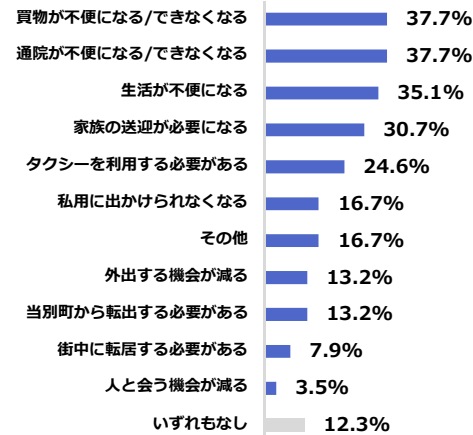
●事業の結果概要

【青山線エリア】

顧客満足度分析



青山線が廃止された場合の影響

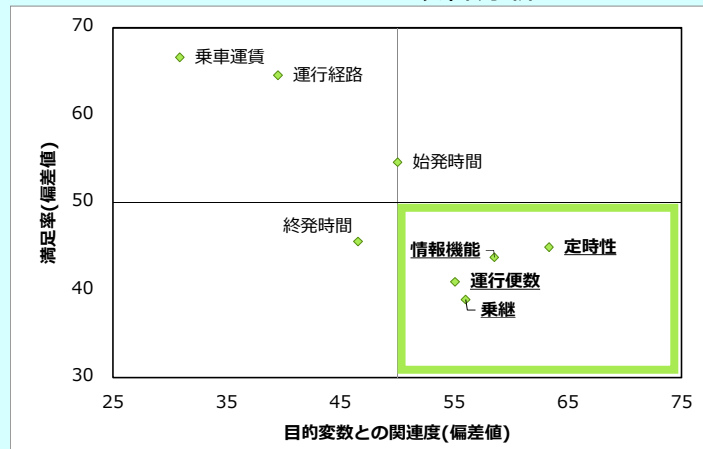


青山線エリアでは、特に「情報機能」「乗継利便性」の改善が重要視されており、外出の目的地や住民特性も踏まえた抜本的なサービスの見直しが求められる。

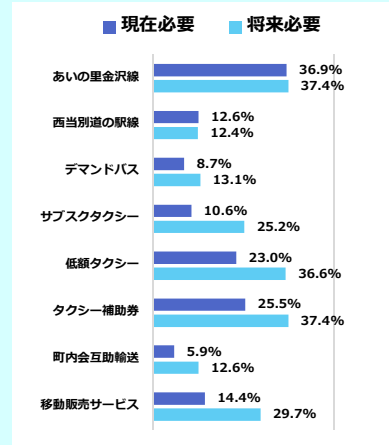
また、定時定路線型の現行サービスの利用減少や利用ニーズの変化を踏まえて、利便性が高くかつ効率的なサービスへの転換が求められる。

【西当別エリア】

バスサービス改善分析



西当別エリアに必要な移動サービス



西当別エリアでは、特に「乗継利便性」「運行便数」「定時性」の改善が重要視されており、外出の目的地や住民特性も踏まえた運行リソース再配分等の見直しが求められる。

求められるサービス内容を踏まえて、現行サービスの精査と将来的なニーズ対応へ向けたサービスの検討が求められる。

○地域公共交通計画素案作成

概況整理や調査の結果を基に分析を実施し、素案を作成中

○協議会の開催

素案完成後に協議会での検討を経て、持続可能な地域公共交通のための計画として最終的にとりまとめる。

当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

○計画の基本理念

安全・快適な移動を支える持続可能な地域公共交通の実現

○基本方針

I：JR学園都市線とコミュニティバスを軸とした持続的かつニーズにあった地域公共交通ネットワークの維持・形成

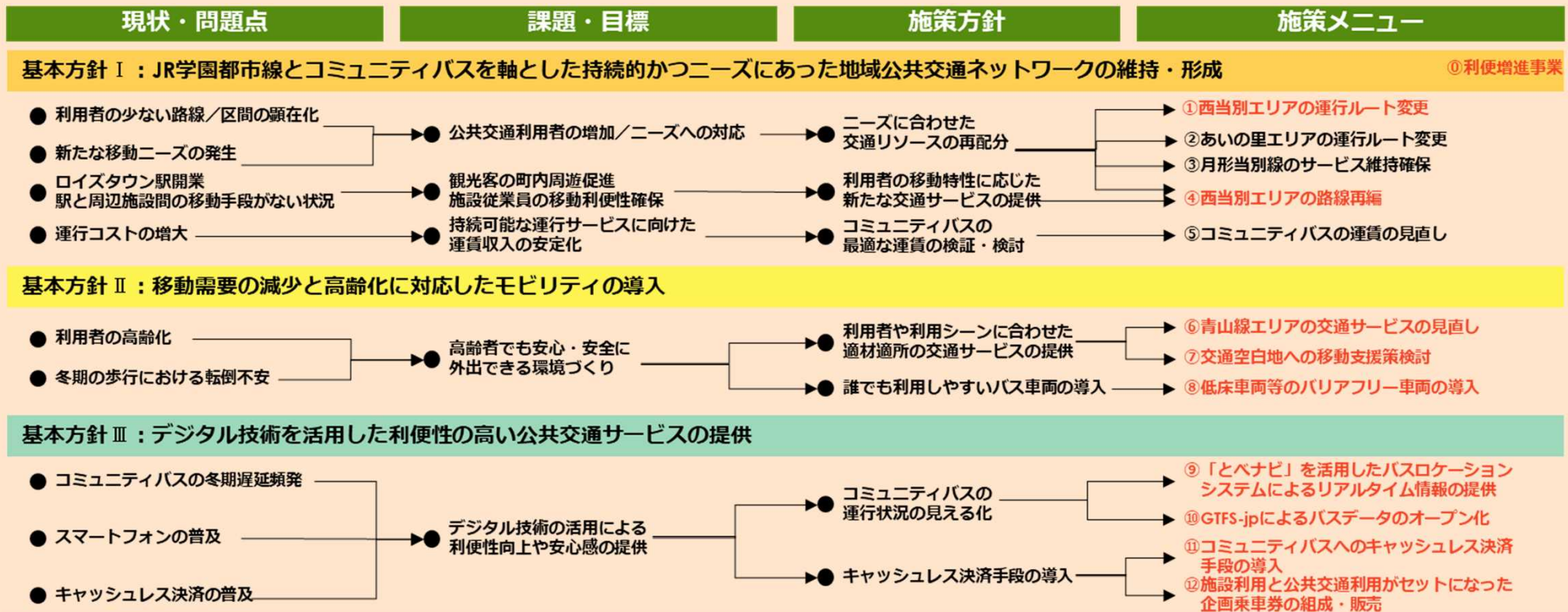
II：移動需要の減少と高齢化に対応したモビリティの導入

III：デジタル技術を活用した利便性の高い公共交通サービスの提供

IV：人出不足時代における公共交通サービスの安定した提供の実現

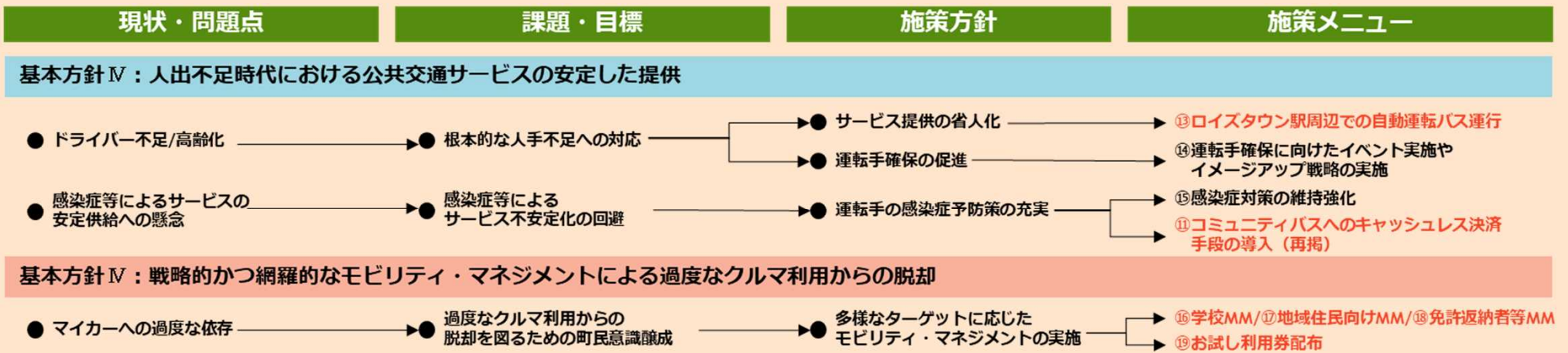
V：戦略的かつ網羅的なモビリティ・マネジメントによる過度なクルマ利用からの脱却

○現状・問題、課題、方向性、施策のフロー



当別町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針



今後、施策を精査し、素案を作成する。その後、パブリックコメントの実施及び協議会の検討を経て、令和4年度末に当別町地域公共交通計画として最終的にとりまとめる。

●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施されている。

●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり実施されている。
- ・引き続き事業の完了に向けて取り組んでいただきたい。
- ・今後、地域公共交通計画策定の際は、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい。